

地震工学委員会 平成 24 年度第 2 回 拡大運営幹事会議事録

I 日時：平成 24 年 8 月 24 日（木）15:00～16:50

II 場所：土木学会講堂

III 出席者：

小長井委員長，藤原幹事長，秋山幹事，片岡幹事，清田幹事，高橋幹事，中島幹事，山本幹事（以上，運営幹事会），木全委員，小池委員，竹内顧問，丸山委員，三上委員（以上，小委員会委員長），尾崎氏（土木学会）

IV 配布資料

- 拡幹 H24-02-01 地震工学委員会 平成 24 年度第 1 回拡大運営幹事会議事録（案）
- 拡幹 H24-02-02 各小委員会活動状況報告資料
- 拡幹 H24-02-03 地震工学研究発表会 小委員会活動セッション報告素案
- 拡幹 H24-02-04 平成 24 年度予算状況
- 拡幹 H24-02-05 アクションプラン「調査研究部門 2012」に関する連絡
- 拡幹 H24-02-06 地震防災技術普及小委員会資料 第 12 回地震災害マネジメントセミナー
- 拡幹 H24-02-07 [土木学会誌 Vol.97 No.7 July 2012]平成 24 年度土木学会賞候補（研究業績賞，論文賞，論文奨励賞）の募集

V 議事

1 前回議事録案の確認

資料【拡幹 H24-02-01】に沿って藤原幹事長より説明が行われ，内容を確認した。修正意見等があれば 1 週間以内に濱野幹事に連絡して修正した後，確定議事録をウェブページに掲載する。

2 審議事項

(1)小委員会活動状況について

各小委員会の活動について，資料および口頭により説明が行われた。

・(水循環ネットワーク災害軽減対策研究小委員会) 竹内顧問より資料【拡幹 H24-02-02】を用いて，平成 24 年度全国大会での研究討論会企画「ミレニアム地震・津波にどう対応するか」，12 月開催予定のシンポジウム「第 1 回 地震・津波に関するシンポジウム」について紹介があった。

・(国際化対応小委員会) 小池委員より JSCE Disaster Fact Sheets 創刊について報告があった。最初は地震被害調査を主な対象とするが，水害などその他の自然災害についても順次対象としていきたいとの説明がなされた。

・(地震被害調査小委員会) 高橋幹事よりイラン地震の被害調査計画について報告があり，

現時点では宮島先生が調査に行かれる計画である旨の説明があった。この他、全国大会での研究討論会企画について紹介があった。これに対して、小長井委員長より被害調査計画の詳細および他調査団との調整などについて決まり次第、連絡をして頂きたいとのコメントがあった。

- ・(地震防災技術普及小委員会) 木全委員より、2012年11月に開催予定の地震災害マネジメントセミナー「我が国の地震・津波対策の現状」について概要&プログラムの紹介があった。

- ・(津波避難調査小委員会) 三上委員より、活動計画に則り、平成23年度に行った調査結果に基づき津波避難に関するポイントを整理中である旨の説明があった。

- ・(性能に基づく橋梁の耐震設計法に関する研究小委員会) 星隈委員より8月にシンポジウムを開催し、東日本大震災の被害報告を中心に、合計約140篇の論文報告がなされた旨の報告があった。

- ・(ライフラインの地震時相関を考慮した都市機能防護戦略に関する研究小委員会) 丸山委員より、予定通り12月にシンポジウムを開催する予定であり、土木学会誌9月号に会告掲載予定の説明があった。

- ・(耐震基準小委員会) 中島幹事より、公共土木構造物の地震安全に関するWGの成果を全国大会の研究討論会で紹介し、幅広く意見をもらう計画である旨の報告があった。

(2)平成24年度土木学会賞候補の提案について

高橋幹事より資料【**拡幹 H24-02-07**】を用いて、論文賞・論文奨励賞の募集に関する説明があった。

■拡大運営幹事会メンバーの依頼事項

配布した資料なども参考にして、地震工学に関連し応募条件を満たす論文を対象に、推薦したい論文がある場合は9/14(金)までに尾崎氏に連絡する。

(3)地震工学研究発表会における小委員会活動セッション報告について

吉見幹事が作成した資料【**拡幹 H24-02-03**】を用いて藤原幹事長より説明があった。

- ・委員会の成果は論文のスタイルに纏められるものとそうではない成果もあるため、参加する小委員会は資料作成にあたり、活動内容・成果内容に基づき資料のスタイルを判断する。

(4)土木学会英文論文集 Vol.1・震災特集への招待論文について

高橋幹事より資料【**拡幹 H24-02-07**】を用いて、震災特集号の内容および各委員会への依頼、スケジュールについて説明があった。

- ・震災特集号は、各委員会への招待論文と一般投稿論文の二種類がある。
- ・論文編集委員会から各委員会への招待論文執筆依頼は本日時点では未だ行われていない。

- ・招待論文は、最遅で平成 25 年 9 月に掲載決定がなされれば震災特集号の掲載となるが、可能であれば平成 25 年 2 月に搭載決定するスケジュールで、今後、各小委員会に働きかけることとする。
- ・論文編集委員会から正式な依頼文を受け次第、各小委員会へ連絡することとする。なお、事前情報では地震工学委員会に対して 10 篇の依頼があるとのこと。

(5)平成 24 年度予算について

山本幹事より資料【拡幹 H24-02-04】を用いて本年度予算について説明があった。例年より拡充支援金が多く割り当てられているので、今後、各小委員会へ活動補助費として利用していただく懇諭を行っていく旨が確認された。(例えば、国際化小委員会の **Disaster Fact Sheet** の投稿プラットフォーム作成費用、8 月 11 日イラン地震への被害調査支援等)

(6)アクションプラン「調査研究部門 2012」について

藤原幹事長より資料【拡幹 H24-02-05】を用いて平成 12 年度の土木学会アクションプランに関して、調査研究委員会宛に連絡があった旨の報告があった。

以上

(作成 中島・藤原)